

3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1 動物の生息状況

動物の生息状況を把握するに当たり収集した文献その他の資料は以下のとおりである。

- ・「第4回自然環境保全基礎調査」(平成7年 環境庁)
- ・「第5回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」(平成13年 環境省)
- ・「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」(平成16年 環境省)
- ・「平成30年度(2018年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ」(平成31年 環境省)
- ・「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」(平成16年 環境省)
- ・「ガンカモ類の生息調査(第37回 2006年1月一斉調査)」(平成17年 環境省)
- ・「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成28年 宮城県)
- ・「宮城の昆虫」(平成3年 河北新報社)
- ・「宮城の魚」(平成5年 河北新報社)
- ・「インセクトマップオブ宮城 No.50～No.54」(令和元年～令和3年 宮城県昆虫地理研究会) ※過去3年間分を対象。

調査対象範囲を図 3.1-18 に示すとおり事業実施想定区域及びその周囲を含む範囲とし、資料ごとに設定した。調査対象区域は、村田町、柴田町、名取市、岩沼市、川崎町、仙台市太白区とした(沿岸部を除く)。

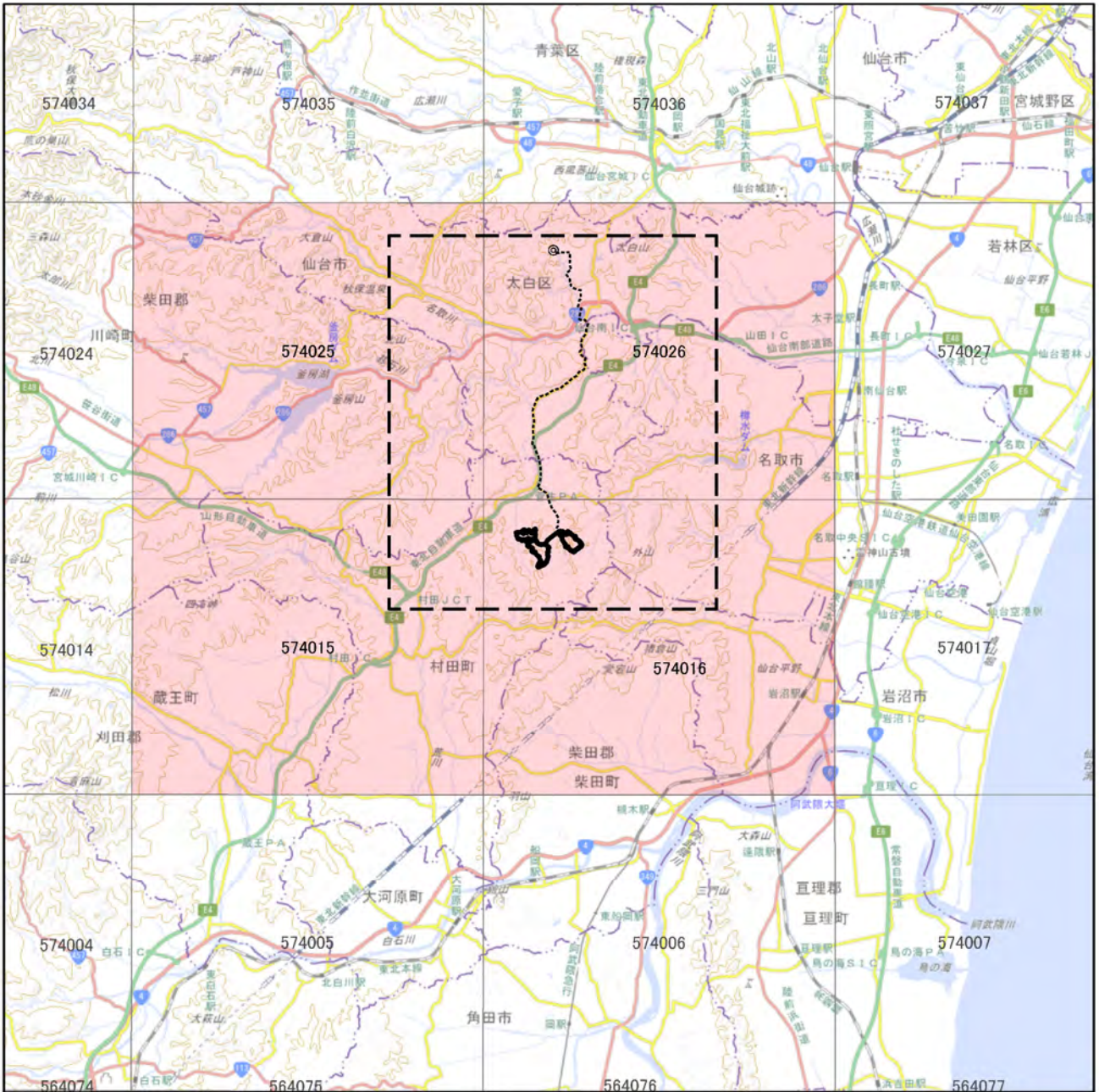


図 3.1-18 調査対象範囲

凡例

■ 事業実施想定区域(村田町内)

◎ 事業実施想定区域(仙台市内)

..... 事業実施想定区域
(自営線敷設想定ルート)

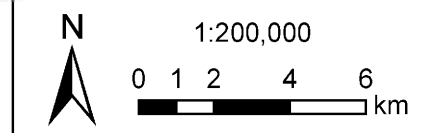
[- - -] 調査範囲

□ 全国標準地域メッシュ・2次メッシュ

■ 該当メッシュ

※ 2次メッシュとは、日本全国を緯度経度で細かく区分した「標準地域メッシュ」のひとつであり、自然環境保全基礎調査で、動植物分布調査などで用いられている。ここでは上記の「574015」、「574016」、「574025」、「574026」メッシュで確認された種を抽出した。

出典：「全国標準地域メッシュ・2次メッシュ(約10km四方)」(生物多様性センターHP、閲覧：令和4年4月)より作成



1) 動物相の状況

事業実施想定区域及びその周囲の動物相の状況は、哺乳類 4 目 9 科 12 種、鳥類 17 目 44 科 125 種、爬虫類 2 目 7 科 12 種、両生類 2 目 6 科 14 種、昆虫類 13 目 113 科 469 種、魚類 8 目 16 科 48 種、底生動物 5 目 9 科 15 種が確認されている。

(1) 哺乳類

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-21 に示すとおりテングコウモリ、カヤネズミ、ツキノワグマ、タヌキ、キツネ、イノシシ、ニホンカモシカ等 4 目 9 科 12 種の哺乳類が確認されている。主な確認位置情報は、図 3.1-19 に示すとおりである。

表 3.1-21 哺乳類生息種一覧

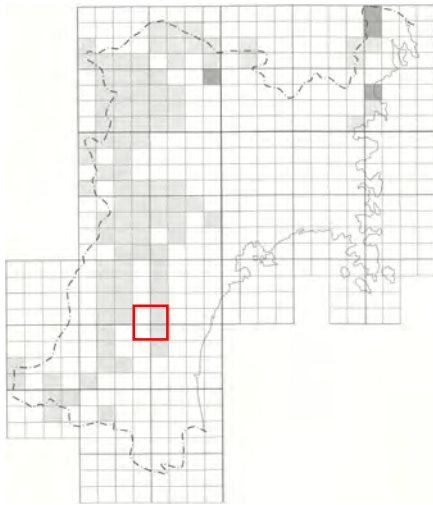
No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	④
1	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ				○
2			ウサギコウモリ				○
3			テングコウモリ				○
4	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ				○
5		ネズミ	カヤネズミ				○
6	ネコ	クマ	ツキノワグマ	○	○	○	
7		イヌ	タヌキ	○	○		
8			キツネ	○	○		
9		イタチ	ニホンアナグマ		○		
10	ウシ	イノシシ	イノシシ		○		
11		シカ	ニホンジカ		○		
12		ウシ	ニホンカモシカ	○	○	○	○
合計	4 目	9 科	12 種	4 種	7 種	2 種	6 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

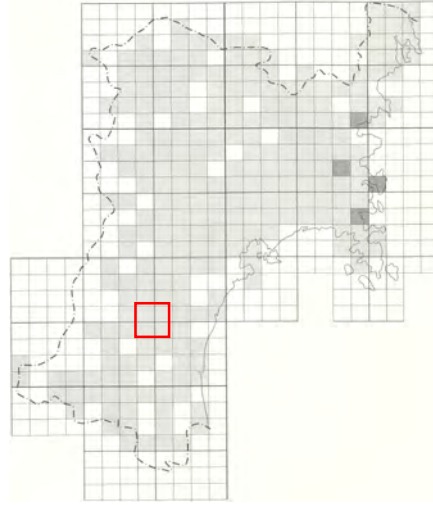
※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

- ①：「第 4 回自然環境保全基礎調査」（平成 7 年 環境庁）
- ②：「第 6 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」（平成 16 年 環境省）
- ③：「平成 30 年度(2018 年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ」（平成 31 年 環境省）
- ④：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（平成 28 年 宮城県）

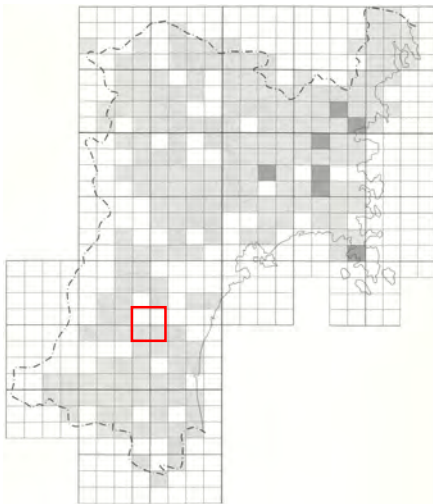
ツキノワグマ



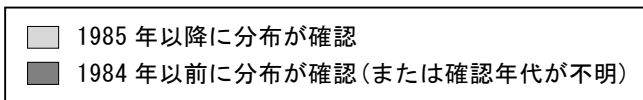
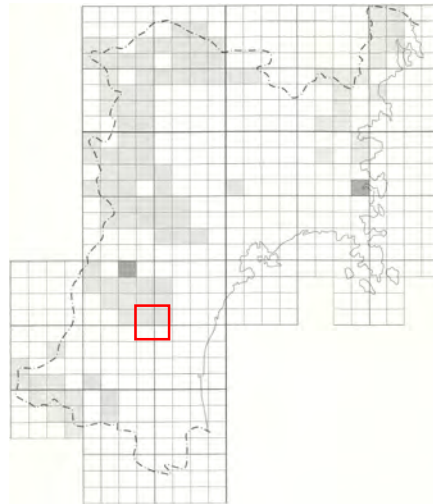
タヌキ



キツネ



ニホンカモシカ



※1. □ : 事業実施想定区域が含まれるメッシュ

出典 : 「第 4 回 自然環境保全基礎調査哺乳類メッシュ図」(平成 7 年 環境省)

図 3.1-19 文献調査における哺乳類の分布図(第 4 回自然環境保全基礎調査)

(2) 鳥類

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-22 に示すとおりカイツブリ、ヨタカ、ハイタカ、クマタカ、フクロウ等 17 目 44 科 125 種の鳥類が確認されている。

表 3.1-22(1) 鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名※1	文献資料※2				
				①	②	③	④	
1	キジ	キジ	ウズラ				○	
2			コジュケイ	○				
3			ヤマドリ	○				
4			キジ	○				
5	カモ	カモ	マガン			○		
6			コハクチョウ			○		
7			オシドリ	○				
8			マガモ	○				
9			カルガモ	○				
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○				
11	ハト	ハト	ドバト	○				
12			キジバト	○				
13			アオバト	○				
14	カツオドリ	ウ	カワウ	○				
15			ウミウ	○				
16	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	○			○	
17			オオヨシゴイ	○				
18			ゴイサギ	○				
19			ササゴイ	○				
20			アマサギ	○				
21			アオサギ	○				
22			ダイサギ	○				
23			チュウサギ	○				
24			コサギ	○				
25			ツル	クイナ	クイナ	○		
26	ヒクイナ	○					○	
27	バン	○						
28	オオバン	○						
29	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	○				
30			ホトトギス	○				
31			ツツドリ	○				
32			カッコウ	○				
33	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○			○	
34	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	○				
35	チドリ	チドリ	イカルチドリ	○				
36			コチドリ	○				
37			シロチドリ	○				
38		シギ	オオジシギ	オオジシギ	○			
39				イソシギ	○			
40		タマシギ	タマシギ	○				
41		カモメ	コアジサシ	○				
42		タカ	タカ	トビ	○			
43				ツミ	○			○
44				ハイタカ				○
45	オオタカ						○	

表 3.1-22(2) 鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}			
				①	②	③	④
46	タカ	タカ	サシバ	○			○
47			ノスリ	○			
48			イヌワシ		○		
49	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	○			
50			コノハズク	○			○
51			フクロウ	○			
52			アオバズク	○			○
53	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	○			
54			カワセミ	○			
55			ヤマセミ	○			
56	キツツキ	キツツキ	コゲラ	○			
57			オオアカゲラ	○			
58			アカゲラ	○			
59			アオゲラ	○			
60	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	○			
61			チゴハヤブサ				○
62			ハヤブサ				○
63	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	○			○
64		カササギヒタキ	サンコウチョウ	○			
65		モズ	チゴモズ	○			
66			モズ	○			
67			アカモズ	○			
68		カラス	カケス	○			
69			オナガ	○			
70			ホシガラス	○			
71			ハシボソガラス	○			
72			ハシブトガラス	○			
73		シジュウカラ	コガラ	○			
74			ヤマガラ	○			
75			ヒガラ	○			
76			シジュウカラ	○			
77		ヒバリ	ヒバリ	○			
78		ツバメ	ツバメ	○			
79			イワツバメ	○			
80		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○			
81		ウグイス	ウグイス	○			
82			ヤブサメ	○			
83		エナガ	エナガ	○			
84		ムシクイ	メボソムシクイ	○			
85			エゾムシクイ	○			
86			センダイムシクイ	○			
87	メジロ	メジロ	○				
88	ヨシキリ	オオヨシキリ	○				
89		コヨシキリ	○				
90	セッカ	セッカ	○				
91	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	○				
92	ミソサザイ	ミソサザイ	○				
93	ムクドリ	ムクドリ	○				
94		コムクドリ	○				
95	カワガラス	カワガラス	○				
96	ヒタキ	マミジロ	○				
97		トラツグミ	○				
98		クロツグミ	○				

表 3.1-22(3) 鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	④
99	スズメ	ヒタキ	アカハラ	○			
100			コマドリ	○			
101			コルリ	○			
102			ルリビタキ	○			
103			ノビタキ	○			
104			イソヒヨドリ	○			
105			コサメビタキ	○			
106			キビタキ	○			
107			オオルリ	○			
108			スズメ	スズメ	○		
109		ハタオリドリ	オオキンランチョウ	○			
110		カエデチョウ	ベニスズメ	○			
111			ギンパラ	○			
112			ブンチョウ	○			
113		セキレイ	キセキレイ	○			
114			ハクセキレイ	○			
115			セグロセキレイ	○			
116			ビンズイ	○			
117		アトリ	カワラヒワ	○			
118			ウソ	○			
119			シメ	○			
120			イカル	○			
121		ホオジロ	ホオジロ	○			
122			ホオアカ	○			
123			ノジコ	○			○
124	アオジ		○				
125	クロジ		○				
合計	17 目	44 科	125 種	117 種	1 種	2 種	15 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(令和3年 国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

- ①: 「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」(平成16年 環境省)
- ②: 「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」(平成16年 環境省)
- ③: 「ガンカモ類の生息調査(第37回 2006年1月一斉調査)」(平成17年 環境省)
- ④: 「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成28年 宮城県)

(3) 爬虫類・両生類

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-23 に示すとおりヒガシニホントカゲ、シマヘビ等 2 目 7 科 12 種の爬虫類、トウホクサンショウウオ、アカハライモリ、ニホンアカガエル等 2 目 6 科 14 種の両生類が確認されている。

表 3.1-23(1) 爬虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}		
				①	②	
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ		○	
2		スッポン	ニホンスッポン		○	
3	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	○		
4		カナヘビ	ニホンカナヘビ	○		
5		タカチホヘビ	タカチホヘビ		○	
6		ナミヘビ	シマヘビ		○	
7			アオダイショウ		○	
8			ジムグリ		○	
9			シロマダラ			○
10			ヒバカリ		○	
11			ヤマカガシ		○	
12			クサリヘビ	ニホンマムシ	○	
合計	2 目	7 科	12 種	8 種	4 種	

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

①：「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」（平成 13 年 環境省）

②：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（平成 28 年 宮城県）

表 3.1-23(2) 両生類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}		
				①	②	
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○	○	
2			クロサンショウウオ		○	
3		イモリ	アカハライモリ	○	○	
4	無尾	アカガエル	ヒキガエル	○		
5			アマガエル	ニホンアマガエル	○	
6			タゴガエル	○		
7			ニホンアカガエル	○		
8			ヤマアカガエル	○		
9			トノサマガエル	○		
10			トウキョウダルマガエル	○	○	
11			ウシガエル	○		
12			ツチガエル	○	○	
13			アオガエル	シュレーゲルアオガエル	○	
14		カジカガエル		○		
合計	2 目	6 科	14 種	13 種	5 種	

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

①：「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」（平成 13 年 環境省）

②：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」（平成 28 年 宮城県）

(4) 昆虫類

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-24 に示すとおりエゾイトトンボ、ツククボウシ、アオバセセリ本土亜種、ヒメギフチョウ本州亜種、セアカオサムシ等、13 目 113 科 469 種の昆虫類が確認されている。

表 3.1-24(1) 昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	④
1	トンボ(蜻蛉)	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ	○	○	○	
2			コバネアオイトトンボ	○	○		
3			アオイトトンボ			○	
4			オオアオイトトンボ	○	○	○	
5			オツネトンボ		○	○	
6		イトトンボ	キイトトンボ	○	○	○	
7			エゾイトトンボ	○		○	
8			オゼイトトンボ	○	○	○	
9			アジアイトトンボ	○	○	○	
10			ヒヌマイイトトンボ		○		
11			モートンイトトンボ	○	○	○	
12			クロイトトンボ	○		○	
13			セスジイトトンボ			○	
14			オオイトトンボ	○	○	○	
15	モノサシトンボ	モノサシトンボ	○	○	○		
16	カワトンボ	ハグロトンボ	○		○		
17		ミヤマカワトンボ	○	○	○		
18		アオハダトンボ	○	○	○		
19		ニホンカワトンボ	○	○	○		
20	ムカシトンボ	ムカシトンボ			○		
21	ヤンマ	オオルリボシヤンマ	○	○	○		
22		ルリボシヤンマ	○	○			
23		マダラヤンマ			○		
24		マルタンヤンマ			○		
25		クロスジギンヤンマ	○	○			
26		ギンヤンマ	○		○		
27		コシボソヤンマ	○		○		
28		カトリヤンマ	○				
29		ミルンヤンマ	○		○		
30		ヤブヤンマ	○		○		
31		サナエトンボ	ミヤマサナエ		○		
32			ヤマサナエ	○	○		
33			クロサナエ			○	
34	モイワサナエ		○	○			
35	ダビドサナエ		○	○	○		
36	オナガサナエ		○	○			
37	アオサナエ				○		
38	ホンサナエ		○		○		
39	コオニヤンマ		○	○	○		
40	オジロサナエ		○		○		
41	ナゴヤサナエ		○				
42	コサナエ		○	○	○		
43	ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	○	○			
44	オニヤンマ	オニヤンマ	○	○	○		

表 3.1-24(2) 昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}					
				①	②	③	④		
45	トンボ(蜻蛉)	エゾトンボ	オオトラフトンボ	○			○		
46			オオヤマトンボ		○	○			
47			コヤマトンボ		○				
48			ハネビロエゾトンボ				○		
49			タカネトンボ	○		○			
50		トンボ	ショウジョウトンボ			○			
51			コフキトンボ	○					
52			ヨツボシトンボ		○				
53			ハラビロトンボ	○	○				
54			ハッチョウトンボ	○	○				
55			シオカラトンボ	○	○	○			
56			シオヤトンボ	○	○	○			
57			オオシオカラトンボ		○	○			
58			ウスバキトンボ	○	○	○			
59			コシアキトンボ	○	○	○			
60			コノシメトンボ				○		
61			ナツアカネ	○	○	○			
62			マユタテアカネ	○	○	○			
63			アキアカネ	○	○	○			
64			ノシメトンボ	○	○	○			
65			マイコアカネ	○	○	○			
66			ヒメアカネ			○			
67			ミヤマアカネ	○	○				
68			リスアカネ			○			
69			ゴキブリ(網翅)	オオゴキブリ	オオゴキブリ				○
70			カマキリ(蟷螂)	カマキリ	コカマキリ		○		
71					オオカマキリ		○		
72			ハサミムシ(革翅)	マルムネハサミムシ	ヒゲジロハサミムシ			○	
73	クギヌキハサミムシ	コブハサミムシ				○			
74	バッタ(直翅)	コロギス	コロギス			○			
75		ツユムシ	セスジツユムシ		○	○			
76		キリギリス	ホシササキリ			○			
77			ササキリ			○			
78			クビキリギス			○			
79			ウマオイ属の一種		○				
80			カスミササキリ				○		
81			ヒメクサキリ			○			
82			Tettigonia 属の一種			○			
83			ケラ	ケラ		○			
84		マツムシ	スズムシ		○				
85			カンタン		○				
86			アオマツムシ			○			
87		コオロギ	ツツレサセコオロギ			○			
88		バッタ	ショウリョウバッタ			○			
89	トノサマバッタ			○					
90	オンブバッタ	オンブバッタ		○	○				
91	カメムシ(半翅)	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ			○			
92		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ			○			
93		セミ	エゾゼミ	○					
94			アブラゼミ	○	○				
95			ミンミンゼミ	○	○				
96			チッチゼミ	○	○				
97			ツクツクボウシ	○					

表 3.1-24(3) 昆虫類生息種一覽

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}				
				①	②	③	④	
98	カメムシ(半翅)	セミ	ニイニイゼミ	○	○			
99			ヒグラシ	○				
100		アワフキムシ	シロオビアワフキ			○		
101		サシガメ	コブマダラカモドキサシガメ			○		
102		グンバイムシ	マルグンバイ			○		
103		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ			○		
104		ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ			○		
105		ヘリカメムシ	ハラビロヘリカメムシ			○		
106		イトカメムシ	イトカメムシ			○		
107		ナガカメムシ	シロヘリナガカメムシ			○		
108			コバネヒョウタンナガカメムシ			○		
—			ナガカメムシ科の一種			○		
109		ツノカメムシ	アオモンツノカメムシ			○		
110			エサキモンキツノカメムシ			○		
111		ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ			○		
112			ツチカメムシ			○		
113		カメムシ	ミヤマカメムシ			○		
114			ツノアオカメムシ			○		
115			タマカメムシ			○		
116		アメンボ	オオアメンボ	○		○		
117			アメンボ	○		○		
118			ヒメアメンボ			○		
119			ハネナシアメンボ			○		
120			コセアカアメンボ			○		
121			シマアメンボ			○		
122			イトアメンボ	ヒメイトアメンボ			○	
123			ミズムシ	ホッケミズムシ			○	
124		アサヒナコミズムシ				○		
125		ハラグロコミズムシ				○		
126		エサキコミズムシ				○		
127		コオイムシ		コオイムシ			○	○
128			オオコオイムシ	○		○		
129			タガメ			○	○	
130	タイコウチ	タイコウチ	○					
131		ミズカマキリ	○		○			
132		ヒメミズカマキリ	○		○			
133	マツモムシ	マツモムシ	○		○			
134	カゲロウ(蜉蝣)	クサカゲロウ	ヤマトクサカゲロウ			○		
135			ヨツボシクサカゲロウ			○		
136	アミメカゲロウ(脈翅)	ツノトンボ	ツノトンボ				○	
137			キバネツノトンボ			○		
138		ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ		○			
139	カスリウスバカゲロウ					○		
140	シリアゲムシ(長翅)	シリアゲムシ	プライアシリアゲ			○		
141	チョウ(鱗翅)	スカシバガ	コスカシバ			○		
142		マダラガ	シロシタホタルガ			○		
143		ハマキガ	ビロードハマキ			○		
144		セセリチョウ	ホシチャバネセセリ			○	○	
145		トリバガ	ナカノホソトリバ			○		
146		ヒゲナガガ	ホソオビヒゲナガ			○		
147		セセリチョウ	キバネセセリ	○		○		
148			アオバセセリ本土亜種	○	○	○		
149			ダイミョウセセリ	○	○	○		

表 3.1-24(4) 昆虫類生息種一覽

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}					
				①	②	③	④		
150	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	ミヤマセセリ	○	○	○			
151			ホソバセセリ	○	○	○			
152			ヒメキマダラセセリ	○		○			
153			コキマダラセセリ	○		○			
154			イチモンジセセリ	○	○	○			
155			ミヤマチャバネセセリ	○		○			
156			チャバネセセリ			○			
157			オオチャバネセセリ	○		○			
158			キマダラセセリ	○	○	○			
159			コチャバネセセリ	○		○			
160			チャマダラセセリ				○		
161					スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種	○	○		
162			シジミチョウ		ミズイロオナガシジミ	○		○	
163					ウスイロオナガシジミ			○	
164					オナガシジミ	○			
165					ウラゴマダラシジミ	○			
166	ムラサキツバメ					○			
167	ムラサキシジミ					○			
168	コツバメ	○			○	○			
169	ルリシジミ	○			○	○			
170	スギタニルリシジミ本州亜種					○			
171	メスアカミドリシジミ					○			
172	ウラギンシジミ	○				○			
173	ツバメシジミ	○			○	○			
174	エゾミドリシジミ	○				○			
175	オオミドリシジミ	○				○			
176	ジョウザンミドリシジミ	○				○			
177	クロミドリシジミ	○							
178	ミヤマカラスシジミ					○			
179	カラスシジミ					○	○		
180	ウラクロシジミ	○			○	○			
181	アカシジミ	○			○	○			
182	ウラナミアカシジミ	○				○			
183	ウラナミシジミ				○	○			
184	ベニシジミ	○			○	○			
185	ミドリシジミ	○			○	○			
186	オオゴマシジミ					○			
187	ヒメシジミ本州・九州亜種					○			
188	ミヤマシジミ	○							
189	トラフシジミ	○			○	○			
190	ムモンアカシジミ	○			○	○			
191	ゴイシシジミ	○			○	○			
192	ウラキンシジミ					○			
193	ウラミスジシジミ	○				○			
194	ヤマトシジミ本土亜種	○				○			
195	タテハチョウ				コムラサキ	○	○	○	
196			サカハチチョウ	○	○	○			
197			ミドリヒョウモン	○	○	○			
198			ツマグロヒョウモン			○			
199			ウラギンスジヒョウモン	○		○			
200			オオウラギンスジヒョウモン	○		○			
201			メスグロヒョウモン	○	○	○			
202			スミナガシ本土亜種	○	○	○			

表 3.1-24(5) 昆虫類生息種一覽

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}					
				①	②	③	④		
203	チョウ(鱗翅)	タテハチョウ	ウラギンヒョウモン	○	○	○			
204			オオウラギンヒョウモン			○			
205			アカボシゴマダラ			○			
206			ゴマダラチョウ本土亜種	○		○			
207			クジャクチョウ	○	○	○			
208			ルリタテハ本土亜種	○	○	○			
209			ツマジロウラジャノメ本州亜種			○			
210			クロヒカゲ本土亜種	○	○	○			
211			ヒカゲチョウ	○		○			
212			テングチョウ日本本土亜種	○	○	○			
213			イチモンジチョウ	○	○	○			
214			アサマイチモンジ	○		○			
215			ウラジャノメ本州亜種			○			
216			ウスイロコノマチョウ	○					
217			ジャノメチョウ	○		○			
218			コジャノメ	○		○			
219			ヒメジャノメ	○	○	○			
220			サトキマダラヒカゲ	○		○			
221			ヤマキマダラヒカゲ本土亜種	○	○	○			
222			クモガタヒョウモン	○		○			
223			オオミスジ			○			
224			ミスジチョウ	○		○			
225			ホシミスジ東北・中部地方亜種			○			
226			コムミスジ本州以南亜種	○	○	○			
227			オオヒカゲ	○	○	○			
228			キベリタテハ			○			
229			ヒオドシチョウ	○	○	○			
230			アサギマダラ	○		○			
231			シータテハ	○		○			
232			キタテハ	○	○	○			
233			オオムラサキ	○	○	○			
234			ヒメアカタテハ	○		○			
235			アカタテハ	○	○	○			
236			ヒメウラナミジャノメ	○	○	○			
237			ヒメキマダラヒカゲ			○			
238			アゲハチョウ	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種	○	○	○	
239					アオスジアゲハ	○		○	
240					ヒメギフチョウ本州亜種	○	○	○	○
241					カラスアゲハ本土亜種	○	○	○	
242					モンキアゲハ			○	
243					ミヤマカラスアゲハ	○	○	○	
244					キアゲハ	○	○	○	
245					オナガアゲハ	○		○	
246	クローアゲハ本土亜種	○				○			
247	アゲハ	○			○	○			
248	ウスバシロチョウ	○			○	○			
249	シロチョウ	シロチョウ	ツマキチョウ本土亜種	○	○	○			
250			モンキチョウ	○	○	○			
251			ミナミキチョウ	○	○				
252			キタキチョウ			○			
253			スジボソヤマキチョウ	○	○	○			
254			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種			○			
255			エゾスジグロシロチョウ	○					

表 3.1-24(6) 昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}				
				①	②	③	④	
256	チョウ(鱗翅)	シロチョウ	スジグロシロチョウ	○	○	○		
257			ヤマトスジグロシロチョウ本州中・南部亜種			○		
258			モンシロチョウ	○		○		
259		ツトガ	ゼニガサミズメイガ				○	
260		シャクガ	トビモンオオエダシャク本土亜種			○		
261			ウメエダシャク		○	○		
262			トンボエダシャク			○		
263			キマダラオオナミシャク			○		
264			ヒメカギバアオシャク			○		
265			フチグロトゲエダシャク			○		
266			ウスキツバメエダシャク			○		
267			クロスジフユエダシャク			○		
268			イカリモンガ	イカリモンガ		○	○	
269			カレハガ	カレハガ			○	
270		ヤママユガ	オオミズアオ本土亜種	○	○			
271			ウスタビガ本土亜種	○				
272			ヒメヤママユ	○				
273		スズメガ	ウンモンズズメ			○		
274			オオスカシバ		○			
275			ベニスズメ	○		○		
276			モモスズメ			○		
277			ホシヒメホウジャク			○		
278			コエビガラスズメ	○				
279			セスジスズメ			○		
280			シャチホコガ	タッタカモクメシャチホコ				○
281		クワヤマエグリシャチホコ					○	
282		ヒトリガ	キハダカノコ		○			
283			シロヒトリ		○			
284			スジモンヒトリ			○		
285	ヤガ	カブラヤガ			○			
286		コシロシタバ				○		
287		ミヤマキシタバ			○			
288		トラガ		○				
289		キシタアツバ				○		
290		キバラケンモン			○			
291		キバラモクメキリガ			○			
292	ハエ(双翅)	ミズアブ	ミズアブ			○		
293		アブ	キンイロアブ			○		
294		ムシヒキアブ	トラフムシヒキ			○		
295			シオヤアブ			○		
296		ハナアブ	マダラコシボソハナアブ			○		
297			ヒサマツハチモドキハナアブ			○		
298			ヘリヒラタアブ			○		
299			ホソヒラタアブ			○		
300			シマハナアブ			○		
301			ナミハナアブ			○		
302			ベッコウハナアブ			○		
303		キベリヒラタアブ			○			
304		ミバエ	エスハマダラミバエ			○		
305		クロバエ	キンバエの一種			○		
306	コウチュウ (鞘翅)	オサムシ	マイマイカブリ		○			
307			セアカオサムシ				○	
308			ツヤキベリアオゴミムシ				○	

表 3.1-24(7) 昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	④
309	コウチュウ (鞘翅)	オサムシ	アトワアオゴミムシ			○	
310			アリスアトキリゴミムシ				○
311			キンナガゴミムシ			○	
312		ハンミョウ	ニワハンミョウ	○		○	
313			コニワハンミョウ	○			
314			マガタマハンミョウ	○			
315			コハンミョウ	○			
316			ナミハンミョウ	○	○	○	
317			ゲンゴロウ	チャイロチビゲンゴロウ			○
318		ゲンゴロウ			○		○
319		マルコガタノゲンゴロウ					○
320		オオイチモンジシマゲンゴロウ		○			○
321		コシマゲンゴロウ		○			
322		エゾヒメゲンゴロウ					○
323		ミズスマシ	ミズスマシ	○			
324		ガムシ	ガムシ		○		
325		ハネカクシ	アカバハバピロオオハネカクシ北海道・本州亜種			○	
326			アカアシオオメツヤムネハネカクシ			○	
327			クロガネトガリオオズハネカクシ			○	
328		クワガタムシ	コクワガタ	○	○		
329			スジクワガタ	○		○	
330			ミヤマクワガタ	○	○		
331			ノコギリクワガタ	○	○		
332		コガネムシ	ヒラタアオコガネ			○	
333			アカマダラハナムグリ				○
334			ダイコクコガネ				○
335			ヒメアシナガコガネ			○	
336			コアオハナムグリ			○	
337			クロハナムグリ			○	
338			コフキコガネ			○	
339			コブマルエンマコガネ			○	
340			ナガスネエンマコガネ				○
341			シロスジコガネ			○	
342			マメコガネ		○		
343			カナブン			○	
344			アオカナブン		○		
345	カブトムシ			○			
346	ナガハナノミ	タテスジヒメヒゲナガハナノミ				○	
347	タマムシ	アカヘリミドリタマムシ			○		
348		タマムシ				○	
349	コメツキムシ	オオシモフリコメツキ			○		
350		オオハナコメツキ			○		
351		ミヤマヒサゴコメツキ			○	○	
352		クロクシコメツキ			○		
353		ヒラタクシコメツキ			○		
354		ホタル	オオオバボタル			○	
355	ゲンジボタル			○		○	
356	ヒメボタル					○	
357	スジグロボタル					○	
358	ベニボタル	カクムネベニボタル			○		
359	テントウムシ	カメノコテントウ		○			
360		テントウムシ科		○			
361	ヒラタムシ	ベニヒラタムシ			○		

表 3.1-24(8) 昆虫類生息種一覽

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}				
				①	②	③	④	
362	コウチュウ (鞘翅)	ヒラタムシ	エゾベニヒラタムシ			○		
363		ツチハンミョウ	ムラサキオオツチハンミョウ				○	
364		カミキリモドキ	キバネカミキリモドキ			○		
365		アカハネムシ	オニアカハネムシ			○		
366			アカハネムシ			○		
367		ゴミムシダマシ	カクスナゴミムシダマシ			○		
368			オオメキバネハムシダマシ			○		
369			ニホンキマワリ本土亜種			○		
370			サトユミアシゴミムシダマシ			○		
371		カミキリムシ	トビイロカミキリ			○		
372			ゴマダラカミキリ		○			
373			ルリカミキリ			○		
374			シロスジカミキリ			○		
375			キンケトラカミキリ			○		
376			トゲヒゲトラカミキリ			○		
377			ヨツスジハナカミキリ		○			
378			ゴマフカミキリ			○		
379			クロホソコバネカミキリ			○		
380			ヒゲジロホソコバネカミキリ			○		
381			リンゴカミキリ			○		
382			キボシカミキリ		○			
383			ベニカミキリ			○		
384			ニセハイイロハナカミキリ			○		
385			ニセヤツボシカミキリ			○		
386			ムネモンヤツボシカミキリ			○		
387			アオカミキリ			○		
388			ヨツボシカミキリ				○	
389			アカハナカミキリ		○	○		
390			トラフカミキリ		○			
391			ハムシ	アカガネサルハムシ			○	
392				ウリハムシ			○	
393				ベニカメノコハムシ				○
394		オオルリハムシ					○	
395		ヤツボシツツハムシ				○		
396		アザミオオハムシ				○		
397		クロマダラカメノコハムシ					○	
398		キヌツヤミズクサハムシ			○			
399	イチモンジカメノコハムシ				○			
400	オトシブミ	ウスモンオトシブミ			○			
401		ウスアカオトシブミ		○				
402		ドロハマキチョッキリ			○			
403		ヒゲナガオトシブミ			○			
404		ヒメコブオトシブミ			○			
405	ゾウムシ	オオタコゾウムシ			○			
406		シロコブゾウムシ			○			
407		キスジアシナガゾウムシ			○			
408		クチプトゾウムシの一種			○			
409		オリーブアナアキゾウムシ			○			
410		スグリゾウムシ			○			
411		カキスグリゾウムシ			○			
412	オサゾウムシ	オオゾウムシ		○	○			
413	ハチ(膜翅)	ヒラタハバチ	ツヤヒラタハバチ			○		
414		ミフシハバチ	ルリチュウレンジ			○		

表 3.1-24(9) 昆虫類生息種一覽

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	文献資料 ^{*2}			
				①	②	③	④
415	ハチ(膜翅)	ハバチ	コシアカハバチ			○	
416			ハコネハバチ			○	
417		コンボウヤセバチ	コンボウヤセバチ			○	
418		ヒメバチ	ヒメバチの一種			○	
419		アリ	アズマオオズアリ			○	
420		スズメバチ	ケブカスジドロバチ		○		
421			フタスジスズバチ			○	
422			ミカドトックリバチ			○	
423			ムモントックリバチ			○	
424			カバオビドロバチ本土亜種			○	
425			エントツドロバチ			○	
426			スズバチ			○	
427			フタモンアシナガバチ本土亜種			○	
428			セグロアシナガバチ本土亜種			○	
429			キボシアシナガバチ			○	
430			キアシナガバチ本土亜種			○	
431			コアシナガバチ		○	○	
432			カタグロチビドロバチ			○	
433			コガタスズメバチ			○	
434	ヒメスズメバチ				○		
435	オオスズメバチ				○		
436	キイロスズメバチ				○		
437	クロスズメバチ				○		
438	シダクロスズメバチ				○		
439	クモバチ		オオモンクロクモバチ			○	
440		フタモンクモバチ			○		
441		アカゴシトゲアシクモバチ			○		
442	ツチバチ	キンケハラナガツチバチ			○		
443		キオビツチバチ			○		
444	ギングチバチ	イワタギングチ本土奄美亜種		○			
445		クロケラトリバチ				○	
446		ナミジガバチモドキ			○		
—		ジガバチモドキ属の一種			○		
447	フシダカバチ	ナミツチスガリ			○		
448	アナバチ	ヤマジガバチ			○		
449		サトジガバチ			○		
450		コクロアナバチ			○		
451	ヒメハナバチ	エチゼンヒメハナバチ				○	
452	ミツバチ	ニホンミツバチ			○		
453		コマルハナバチ本土亜種			○		
454		トラマルハナバチ本土亜種		○			
455		オオマルハナバチ本土亜種			○		
456		ニッポンキマダラハナバチ			○		
—		Nomada 属の一種			○		
457		ミツクリヒゲナガハナバチ			○		
458		キムネクマバチ			○		
459		ムカシハナバチ	スミスメンハナバチ			○	
460		コハナバチ	アトジマコハナバチ			○	
461	ホクダイコハナバチ				○		
462	アオスジハナバチ			○	○		
463	ハキリバチ	ヤノトガリハナバチ			○		
464		ハラアカヤドリハキリバチ			○		
465		バラハキリバチ本土亜種			○		

表 3.1-24(10) 昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	④
466	ハチ(膜翅)	ハキリバチ	サカガミハキリバチ		○		
467			オオハキリバチ			○	
468			ツルガハキリバチ			○	
469			マイマイツツハナバチ				○
合計	13 目	113 科	469 種	166 種	141 種	361 種	42 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(令和3年 国土交通省 水情報国土データ管理センター)に準拠した。種まで同定されていなくても、同一の分類群に属する種などが確認されていなければ、1種として計上した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

- ①：「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成14年 環境省)
- ②：「宮城の昆虫」(平成3年 河北新報社)
- ③：「インセクトマップオブ宮城 No.50～No.54」(令和元年～令和3年 宮城県昆虫地理研究会)
- ④：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成28年 宮城県)

(5) 魚類

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-25 に示すとおりニホンウナギ、タイリクバラタナゴ、ホトケドジョウ、オオヨシノボリ、アユ等、8 目 16 科 48 種の魚類が確認されている。

表 3.1-25(1) 魚類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}				
				①	②	③		
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	○	○			
-			スナヤツメ類			○		
2			カワヤツメ		○	○		
3	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	○	○	○		
4	コイ	コイ	コイ	○	○			
5			ゲンゴロウブナ	○	○			
6			キンブナ	○	○			
7			ギンブナ	○		○		
8			テツギョ			○		
9			タナゴ	○				
10			アカヒレタビラ	○		○		
11			ゼニタナゴ		○			
12			タイリクバラタナゴ	○	○			
13			オイカワ	○	○			
14			アブラハヤ	○	○			
15			マルタ	○				
16			ウグイ	○	○			
17			モツゴ	○	○			
18			ビワヒガイ	○	○			
-			ヒガイ類	○				
19			タモロコ	○	○			
20			カマツカ	○	○			
21			ツチフキ	○				
22			ニゴイ	○	○			
23			イトモロコ	○				
24			ドジョウ	ドジョウ	ドジョウ	○		
25					シマドジョウ	○	○	
26	フクドジョウ	ホトケドジョウ			○	○	○	
27	ナマズ	ギギ	ギバチ	○	○	○		
28			ナマズ	○	○			
29	サケ	キュウリウオ	ワカサギ	○	○			
30			アユ	○	○			
31			サケ	イワナ		○		
32				ニジマス	○	○		
33				サケ	○			
34				サクラマス(ヤマメ)	○			
35	ボラ	ボラ	ボラ	○				
36	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	○	○	○		
37	スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル	○				
38			オオクチバス	○				
39	カジカ	カジカ	カジカ	○	○			
40			カジカ大卵型	○				
41	ハゼ	ハゼ	ヌマチチブ	○				
42			シマヨシノボリ	○	○			

表 3.1-25(2) 魚類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	文献資料 ^{※2}			
				①	②	③	
43	スズキ	ハゼ	ルリヨシノボリ		○		
44			オオヨシノボリ	○	○		
45			トウヨシノボリ	○	○		
—			ヨシノボリ類	○			
46			ウキゴリ		○		
—			ウキゴリ類	○			
—			ウキゴリ類 (淡水型)	○			
47			ジュズカケハゼ	○	○		
48			タイワンドジョウ	カムルチー		○	
合計			8 目	16 科	48 種	45 種	33 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和3年度生物リスト」(令和3年 国土交通省 水情報国土データ管理センター)に準拠した。種まで同定されていなくても、同一の分類群に属する種などが確認されていなければ、1種として計上した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

- ①：「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成14年 環境省)
- ②：「宮城の魚」(平成5年 河北新報社)
- ③：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成28年 宮城県)

(6) 底生動物等

事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1-26 に示すとおりオオタニシ、カワシンジュガイ、ヒダリマキマイマイ等の 5 目 9 科 15 種の底生動物の生息が確認されている。

表 3.1-26 底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名※1	文献資料※2	
				①	②
1	新生腹足	タニシ	オオタニシ	○	
2		カワニナ	カワニナ	○	
3	汎有肺	モノアラガイ	ヒロクチモノアラガイ (イグチモノアラガイ)	○	
4			モノアラガイ	○	
5		サカマキガイ	サカマキガイ	○	
6		ヒラマキガイ	ヒメヒラマキミズマイマイ		○
7			ミズコハクガイ		○
8	イシガイ	カワシンジュガイ	カワシンジュガイ		○
9		イシガイ	フネドブガイ		○
10			カラスガイ		○
11			マツカサガイ広域分布種	○	
12			ヌマガイ(ドブガイ)	○	○
13		マルスダレガイ	シジミ	マシジミ	
14	マイマイ	オナジマイマイ	オナジマイマイ	○	
15			ヒダリマキマイマイ	○	
合計	5 目	9 科	15 種	9 種	7 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」(令和 3 年 国土交通省 水情報国土データ管理センター)に準拠した。

※2. 文献資料の出典は以下のとおり。

①：「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成 14 年 環境省)

②：「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物 RED DATA BOOK MIYAGI 2016」(平成 28 年 宮城県)

2) 重要な種及び注目すべき生息地

動物に係る重要な種は、既存文献より生息が確認された種のうち、表 3.1-27 に示す基準に該当するものを選定した。

表 3.1-27 重要な種を選定基準

分類	略称	名称	選定対象項目							カテゴリ
			哺乳	鳥	両・爬	魚	虫	貝	底	
法規制等	文法	『文化財保護法』 (昭和 25 年 法律第 214 号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和 50 年 宮城県条例第 49 号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第 14 号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)	○	○	○	○	○	-	○	<ul style="list-style-type: none"> ・特天：特別天然記念物 ・国天：天然記念物 ・県天：県指定天然記念物 ・町天：町指定天然記念物 ・市天：市指定天然記念物
	種法	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成 4 年 法律第 75 号)	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国内：国内希少野生動植物 ・国際：国際希少野生動植物
RDB等	環RL	『環境省レッドリスト』 (令和 2 年 環境省)	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧 I 類 ・CR：絶滅危惧 I A 類 ・EN：絶滅危惧 I B 類 ・VU：絶滅危惧 II 類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	宮RDB①	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-RED DATA BOOK MIYAGI2016-』 (平成 28 年 宮城県)	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧 I 類 ・VU：絶滅危惧 II 類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種
	宮RL②	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2022 年版-』 (令和 4 年 宮城県)	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅 ・EW：野生絶滅 ・CR+EN：絶滅危惧 I 類 ・VU：絶滅危惧 II 類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群 ・要注目種

(1) 哺乳類

哺乳類の重要な種は、表 3.1-28 に示すとおり、ヒメホオヒゲコウモリ、ウサギコウモリ、テングコウモリ、ヤマネ、カヤネズミ、ツキノワグマ、ニホンカモシカの 4 目 5 科 7 種である。

表 3.1-28 重要な哺乳類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ				VU	VU
2			ウサギコウモリ				VU	VU
3			テングコウモリ				VU	VU
4	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ	国天			NT	NT
5		ネズミ	カヤネズミ				要注目種	要注目種
6	ネコ	クマ	ツキノワグマ			LP		
7	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	国特			要注目種	要注目種
合計	4 目	5 科	7 種	2 種	0 種	1 種	6 種	6 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省 水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(2) 鳥類

鳥類の重要な種は、表 3.1-29 に示すとおり、ウズラ、マガン、ヨシゴイ、クイナ、ヨタカ、イカルチドリ、ツミ、オオコノハズク、アカショウビン、チゴハヤブサ、サンショウクイ等の 11 目 16 科 31 種である。

表 3.1-29 重要な鳥類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	キジ	キジ	ウズラ			VU	CR+EN	CR+EN
2	カモ	カモ	マガン	国天		NT		
3			オシドリ			DD		
4	ペリカン	サギ	ヨシゴイ			NT	NT	NT
5			オオヨシゴイ		国内	CR	CR+EN	CR+EN
6			チュウサギ			NT		
7			コサギ					NT
8	ツル	クイナ	クイナ				要注目種	NT
9			ヒクイナ			NT	CR+EN	CR+EN
10	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			NT	NT	VU
11	チドリ	チドリ	イカルチドリ					NT
12			シロチドリ			VU	NT	NT
13		シギ	オオジシギ			NT	NT	VU
14		タマシギ	タマシギ			VU		
15		カモメ	コアジサシ			VU	VU	VU
16	タカ	タカ	ツミ				DD	DD
17			ハイタカ			NT	NT	NT
18			オオタカ			NT	NT	NT
19			サシバ			VU	VU	VU
20			イヌワシ	国天	国内	EN	CR+EN	CR+EN
21	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク				要注目種	NT
22			コノハズク				要注目種	DD
23			アオバズク				VU	VU
24	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン				要注目種	NT
25			ヤマセミ				要注目種	NT
26	ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ				要注目種	NT
27			ハヤブサ		国内	VU	NT	NT
28	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ			VU	VU	NT
29		モズ	チゴモズ			CR	CR+EN	CR+EN
30			アカモズ		国内	EN	CR+EN	CR+EN
31		ホオジロ	ノジコ			NT	要注目種	NT
合計	11 目	16 科	31 種	2 種	4 種	21 種	25 種	27 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省 水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(3) 爬虫類・両生類

爬虫類・両生類の重要な種は、表 3.1-30 に示すとおり、爬虫類はニホンイシガメ、ニホンスッポン、タカチホヘビ、シロマダラの 2 目 4 科 4 種、両生類はトウホクサンショウウオ、クロサンショウウオ、アカハライモリ、タゴガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、トウキョウダルマガエル、ツチガエルの 2 目 3 科 8 種である。

表 3.1-30(1) 重要な爬虫類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ			NT	DD	DD
2		スッポン	ニホンスッポン			DD	DD	DD
3	有鱗	タカチホヘビ	タカチホヘビ				DD	DD
4		ナミヘビ	シロマダラ				DD	DD
合計	2 目	4 科	4 種	0 種	0 種	2 種	4 種	4 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省 水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

表 3.1-30(2) 重要な両生類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ			NT	NT	NT
2			クロサンショウウオ			NT	LP	LP
3		イモリ	アカハライモリ			NT	LP	LP
4	無尾	アカガエル	タゴガエル					NT
5			ヤマアカガエル					NT
6			トノサマガエル			NT	要注目種	VU
7			トウキョウダルマガエル			NT	NT	NT
8			ツチガエル				NT	NT
合計	2 目	3 科	8 種	0 種	0 種	5 種	6 種	8 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省 水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(4) 昆虫類

昆虫類の重要な種は、表 3.1-31 に示すとおり、コバネアオイトトンボ、タカネトンボ、コオイムシ、ヒメギフチョウ本州亜種、ゲンゴロウ、ヨツボシカミキリ等の 8 目 37 科 67 種である。

表 3.1-31(1) 重要な昆虫類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{*1}	選定基準 ^{*2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	トンボ(蜻蛉)	アオイトトンボ	コバネアオイトトンボ			EN	CR+EN	CR+EN
2		イトトンボ	ヒヌマイトトンボ			EN	CR+EN	CR+EN
3			モートンイトトンボ			NT		
4		カワトンボ	アオハダトンボ			NT		
5		ヤンマ	マダラヤンマ			NT	NT	VU
6			マルタンヤンマ				NT	NT
7			カトリヤンマ				CR+EN	CR+EN
8		サナエトンボ	ナゴヤサナエ			VU	CR+EN	CR+EN
9		エゾトンボ	オオトラフトンボ				VU	
10			ハネビロエゾトンボ			VU	CR+EN	CR+EN
11			タカネトンボ			VU	CR+EN	CR+EN
12		トンボ	ハッチョウトンボ				VU	VU
13			コノシメトンボ				CR+EN	CR+EN
14			ヒメアカネ				CR+EN	CR+EN
15	ゴキブリ(網翅)	オオゴキブリ	オオゴキブリ				VU	VU
16	バッタ(直翅)	キリギリス	カスミササキリ				NT	NT
17	カメムシ(半翅)	ミズムシ	ホッケミズムシ			NT	NT	NT
18		コオイムシ	コオイムシ			NT	NT	NT
19		タガメ		国内	VU	CR+EN	CR+EN	
20	アミメカゲロウ(脈翅)	ツノトンボ	ツノトンボ				CR+EN	CR+EN
21			キバネツノトンボ				VU	VU
22		ウスバカゲロウ	カスリウスバカゲロウ				DD	DD
23	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ			EN	VU	VU
24			チャマダラセセリ			EN	CR+EN	CR+EN
25		シジミチョウ	カラスシジミ				NT	NT
26			オオゴマシジミ			NT		DD
27			ヒメシジミ本州・九州亜種			NT		
28			ミヤマシジミ			EN	EX	EX
29		タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン			VU		
30			オオウラギンヒョウモン			CR	EX	EX
31			ウラジャノメ本州亜種				DD	DD
32			オオムラサキ			NT		
33		アゲハチョウ	ヒメギフチョウ本州亜種			NT	NT	NT
34		シロチョウ	ヒメシロチョウ北海道・本州亜種					CR+EN
35		ツトガ	ゼニガサミズメイガ				NT	
36	シャチホコガ	タッタカモクメシャチホコ				NT		
37		クワヤマエグリシャチホコ			NT	NT	NT	
38		ヤガ	コシロシタバ			NT	VU	NT
39		ミヤマキシタバ			NT			
40		キシタアツバ			NT	NT		
41	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	セアカオサムシ			NT	NT	NT
42			ツヤキベリアオゴミムシ			VU	VU	VU
43			アリスアトキリゴミムシ			DD	DD	DD
44		ハンミョウ	ナミハンミョウ					NT
45		ゲンゴロウ	ゲンゴロウ			VU	NT	NT

表 3.1-31(2) 重要な昆虫類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}					
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②	
46	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	マルコガタノゲンゴロウ		国内	CR	DD	DD	
47			オオイチモンジシマゲンゴロウ			EN	VU	VU	
48			エゾヒメゲンゴロウ				DD	DD	
49		ミズスマシ	ミズスマシ			VU			
50		ガムシ	ガムシ			NT			
51		コガネムシ	アカマダラハナムグリ			DD	NT	NT	
52			ダイコクコガネ			VU	VU	VU	
53			ナガスネエンマコガネ				DD	DD	
54		ナガハナノミ	タテスジヒメヒゲナガハナノミ				DD	DD	
55		コメツキムシ	ミヤマヒサゴコメツキ				NT	NT	
56		ホタル	ゲンジボタル				NT	NT	
57			ヒメボタル				NT	NT	
58			スジグロボタル				NT	NT	
59		ツチハンミョウ	ムラサキオオツチハンミョウ				NT	NT	
60		カミキリムシ	ヨツボシカミキリ			EN	CR+EN	CR+EN	
61		ハムシ	ベニカメノコハムシ				NT	NT	
62			オオルリハムシ			NT	NT	NT	
63			クロマダラカメノコハムシ				DD	DD	
64		ハチ(膜翅)	ギングチバチ	クロケラトリバチ				DD	DD
65			ヒメハナバチ	エチゼンヒメハナバチ				NT	NT
66	コハナバチ		アオスジハナバチ				CR+EN	CR+EN	
67	ハキリバチ		マイマイツツハナバチ			DD	VU	VU	
合計	8 目	37 科	67 種	0 種	2 種	37 種	56 種	55 種	

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」(令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(5) 魚類

魚類の重要な種は、表 3.1-32 に示すとおり、7 目 11 科 20 種である。

表 3.1-32 重要な魚類一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}					
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②	
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ			VU		DD	
-			スナヤツメ類				NT		
2			カワヤツメ			VU	DD	CR+EN	
3	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ			EN	NT	NT	
4	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ			EN			
5			キンブナ			VU	NT	VU	
6			テツギョ				CR+EN	要注目種	
7			タナゴ			EN	CR+EN	CR+EN	
8			アカヒレタビラ			EN	CR+EN	CR+EN	
9			ゼニタナゴ			CR	CR+EN	CR+EN	
10			ツチフキ			EN			
11			ドジョウ	ドジョウ			NT		
12			フクドジョウ	ホトケドジョウ			EN	NT	NT
13			ナマズ	ギギ	ギバチ			VU	NT
14	サケ	キュウリウオ	ワカサギ					NT	
15			サケ	サクラマス(ヤマメ)			NT	NT	NT
16	ダツ	メダカ	ミナミメダカ			VU	NT	NT	
17	スズキ	カジカ	カジカ			EN			
18			カジカ大卵型			NT			
19		ハゼ	ルリヨシノボリ				VU	VU	
20			ジュズカケハゼ			NT		NT	
合計	7 目	11 科	20 種	0 種	0 種	17 種	13 種	15 種	

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」(令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(6) 底生動物等

底生動物の重要な種は、表 3.1-33 に示すとおり 4 目 6 科 11 種である。

表 3.1-33 重要な底生動物一覧

No.	目名	科名	種名 ^{※1}	選定基準 ^{※2}				
				文法	種法	環 RL	宮 RDB①	宮 RL②
1	新生腹足	タニシ	オオタニシ			NT		
2	汎有肺	モノアラガイ	ヒロクチモノアラガイ (イグチモノアラガイ)			DD		
3			モノアラガイ			NT		
4		ヒラマキガイ	ヒメヒラマキミズマイマイ			EN	DD	DD
5			ミズコハクガイ			VU	DD	DD
6		イシガイ	カワシンジュガイ	カワシンジュガイ		国内	EN	CR+EN
7	イシガイ		フネドブガイ				DD	DD
8			カラスガイ			EN	CR+EN	CR+EN
9			マツカサガイ広域分布種			NT	VU	VU
10			ヌマガイ				NT	NT
11	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ			VU	DD	DD
合計	4 目	6 科	11 種	0 種	0 種	9 種	8 種	8 種

※1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 3 年度生物リスト」（令和 3 年 国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

※2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-27 に示した略称を表記している。

(7) 注目すべき生息地

事業実施想定区域及びその周囲を対象に、注目すべき生息地について表 3.1-34 に示す法令や規制等の選定基準に基づき抽出した。

表 3.1-34(1) 注目すべき生息地の選定基準

分類番号	名称	カテゴリ
①	『文化財保護法』 (昭和 25 年 法律第 214 号) 『宮城県文化財保護条例』 (昭和 50 年 宮城県条例第 49 号) 『村田町文化財保護条例』 (平成元年 村田町条例第 14 号) 『仙台市文化財保護条例』 (昭和 37 年 仙台市条例第 27 号)	特天：特別天然記念物 国天：天然記念物 県天：県指定天然記念物 町天：町指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
②	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成 4 年 法律第 75 号) 『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令』 (平成 5 年 政令第 17 号)	生息：生息地等保護区
③	『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)』 (昭和 55 年 条約第 28 号)に基づく重要な湿地	基準 1：特定の生物地理区内で代表的、希少、または固有の湿地タイプを含む湿地 基準 2：絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地 基準 3：特定の生物地理区における生物多様性の維持に重要な動植物を支えている湿地 基準 4：動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地 基準 5：定期的に 2 万羽以上の水鳥を支えている湿地 基準 6：水鳥の 1 種または 1 亜種の個体群の個体数の 1 % 以上を定期的に支えている湿地 基準 7：固有な魚類の亜種、種、科、魚類の生活史の諸段階、種間相互作用、湿地の価値を代表するような個体群の相当な割合を支えており、それによって世界の生物多様性に貢献している湿地 基準 8：魚類の食物源、産卵場、稚魚の生息場として重要な湿地。あるいは湿地内外の漁業資源の重要な回遊経路となっている湿地 基準 9：鳥類以外の湿地に依存する動物の種または亜種の個体群の個体数の 1 % 以上を定期的に支えている湿地
④	『生物多様性の観点から重要度の高い湿地』 (環境省 HP、閲覧：令和 4 年 4 月)に基づく重要度の高い湿地	基準 1：湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・砂浜・マングローブ湿地、藻場、サンゴ 礁等の生態系のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面積を有している場合 基準 2：希少種、固有種等が生育・生息している場合 基準 3：多様な生物相を有している場合(ただし、外来種を除く) 基準 4：特定の種の個体群のうち、相当な割合の個体数が生育・生息する場合 基準 5：生物の生活史の中で不可欠な地域(採餌場、繁殖場等)である場合
⑤	『希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について』 (環境省 HP、閲覧：令和 4 年 4 月)	生息確認 生息推定 一時滞在

表 3.1-34(2) 注目すべき生息地の選定基準

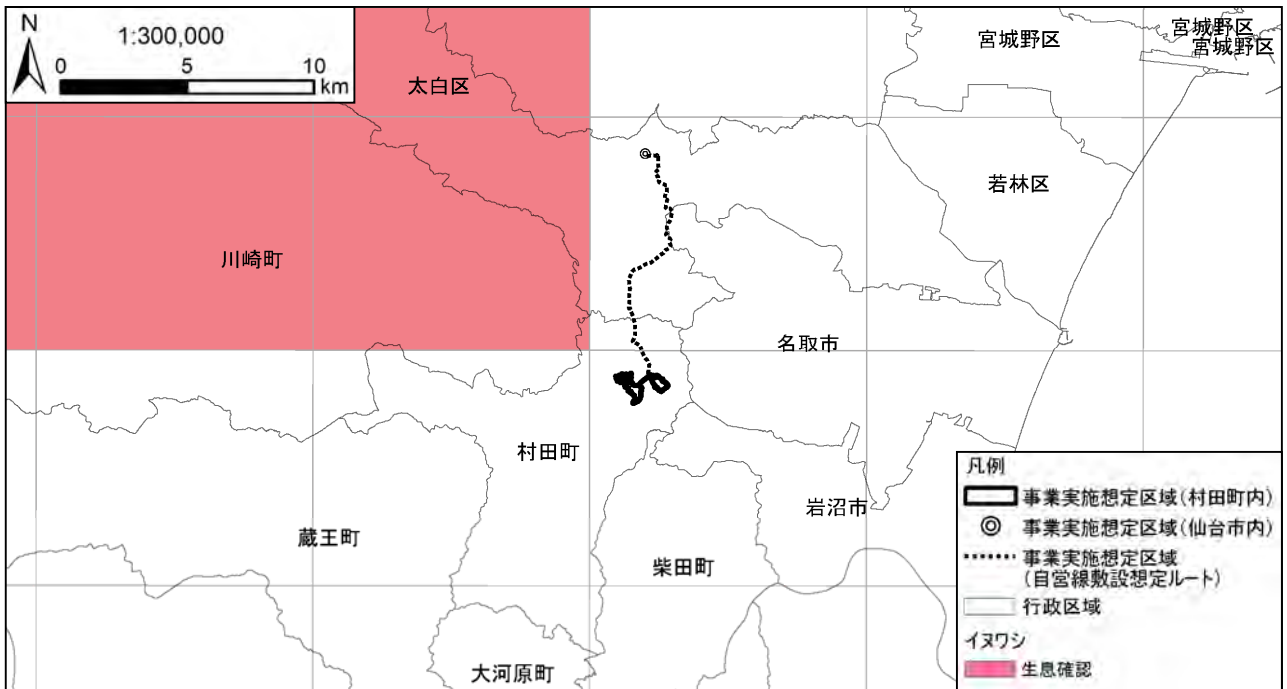
分類番号	名称	カテゴリ
⑥	『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』(平成14年 法律第88号) 『宮城県鳥獣保護区等位置図』(令和3年 宮城県)	都道府県指定鳥獣保護区 国指定鳥獣保護区 特別：特別保護地区 特指：特別保護指定区域
⑦	『重要野鳥生息地(IBA)』(日本野鳥の会 HP、閲覧：令和4年4月)	基準 A1: 世界的に絶滅が危惧される種、または全世界で保護の必要がある種が、定期的・恒常的に多数生息している生息地 基準 A2: 生息地域限定種 (Restricted-range species) が相当数生息するか、生息している可能性がある生息地 基準 A3: ある1種の鳥類の分布域すべてもしくは大半が1つのバイオームに含まれている場合で、そのような特徴をもつ鳥類複数種が混在して生息する生息地、もしくはその可能性がある生息地 基準 A4 i: 群れを作る水鳥の生物地理的個体群の1%以上が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト 基準 A4 ii: 群れを作る海鳥または陸鳥の世界の個体数の1%以上が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト 基準 A4 iii: 1種以上で2万羽以上の水鳥、または1万つがい以上の海鳥が定期的に生息するか、または生息すると考えられるサイト。 基準 A4 iv: 渡りの隘路にあたる場所で、定められた閾値を超える渡り鳥が定期的に利用するボトルネックサイト
⑧	『生物多様性保全の鍵になる重要な地域(KBA)』(コンサベーション・インターナショナル・ジャパン HP、閲覧：令和4年4月)	危機性：IUCN のレッドリストの地域絶滅危惧種 (CR、EN、VU) に分類された種が生息/生育する 非代替性： a) 限られた範囲にのみ分布している種 (RR) b) 広い範囲に分布するが特定の場所に集中している種 c) 世界的にみて個体が一時的に集中する重要な場所 d) 世界的にみて顕著な個体の繁殖地 e) バイオリージョンに限定される種群
⑨	『自然環境保全法』(昭和47年 法律第85号) 『県立自然公園条例』(昭和34年 宮城県条例第20号) 『宮城県自然環境保全条例』(昭和47年 宮城県条例第25号)	県自然公園 自然環境保全地域 緑地環境保全地域
⑩	『平成30年度(2018年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ』(環境省 HP、閲覧：令和4年4月)	生息確認
⑪	『ガンカモ類の生息調査(第37回 2006年1月一斉調査)』(環境省 HP、閲覧：令和4年4月)	渡り鳥生息地
⑫	『平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』(仙台市 HP、閲覧：令和4年4月)	動物生息地として重要な地域

事業実施想定区域及びその周囲における注目すべき生息地を表 3.1-35、図 3.1-20 及び図 3.1-21 に示す。イヌワシ(天然記念物)、カモシカ(天然記念物)及びツキノワグマ、マガン・コハクチョウの生息地が確認されているほか、事業実施想定区域及びその周囲には県立自然公園二口峡谷、樽水・五社山県自然環境保全地域、太白山県自然環境保全地域、高館・千貫山緑地環境保全地域、蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域、菅生鳥獣保護区、愛宕鳥獣保護区が存在する。また、動物生息地として重要な地域は、高館・千貫山及び坪沼地区等が存在する。なお、村田町内の事業実施想定区域には菅生鳥獣保護区が存在している。

表 3.1-35 注目すべき生息地

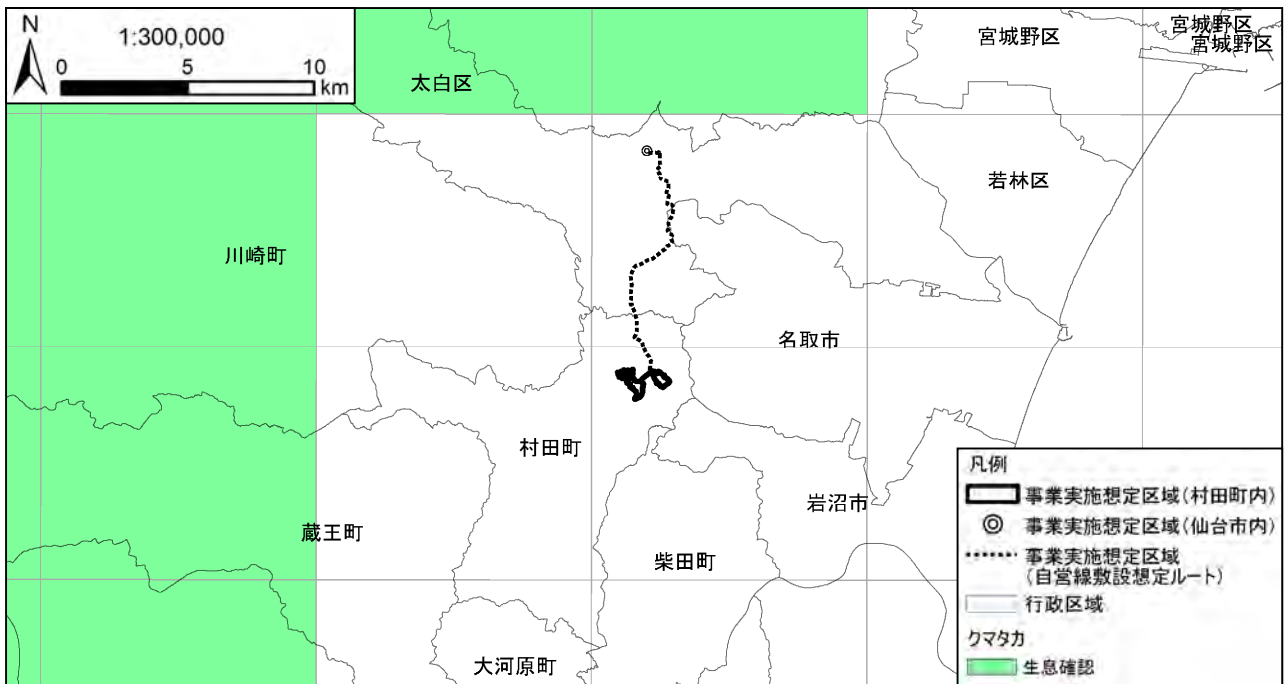
名称及び種名等	カテゴリ	選定基準	生息地の有無※1
カモシカ	天然記念物	『文化財保護法』 (昭和 25 年 法律第 214 号)	○
イヌワシ (地域を定めず)			○
イヌワシ	生息確認	『希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について』 (環境省 HP、閲覧:令和 4 年 4 月)	○
クマタカ			—
ツキノワグマ	生息確認	『平成 30 年度(2018 年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ』 (環境省 HP、閲覧:令和 4 年 4 月)	○
マガン オオハクチョウ コハクチョウ	渡り鳥生息地	『ガンカモ類の生息調査(第 37 回 2006 年 1 月一斉調査)』 (環境省 HP、閲覧:令和 4 年 4 月)	○
県立自然公園二口溪谷	県立自然公園	『県立自然公園条例』 (昭和 34 年 宮城県条例第 20 号)	○
菅生鳥獣保護区	鳥獣保護区	『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』 (平成 14 年 法律第 88 号)	○
愛宕鳥獣保護区			○
樽水・五社山県自然環境保全地域	自然環境保全地域	『宮城県自然環境保全条例』 (昭和 47 年 宮城県条例第 25 号)	○
太白山県自然環境保全地域			○
高館・千貫山緑地環境保全地域	緑地環境保全地域		○
蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域			○
太白山・佐保山・鈎取 国有林一帯	動物生息地として重要な地域	『平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書』 (仙台市 HP、閲覧:令和 4 年 4 月)	○
太白山一帯			○
奥羽山脈から青葉山丘陵地域への緑の回廊			○
高館・千貫山			○
坪沼地区			○
秋保地区			○
名取川(上～中流域)			○

※1. ○: 事業実施想定区域及びその周囲において、注目すべき生息地もしくは生息の情報が有る。
—: 事業実施想定区域及びその周囲において、注目すべき生息地もしくは生息の情報が無い。



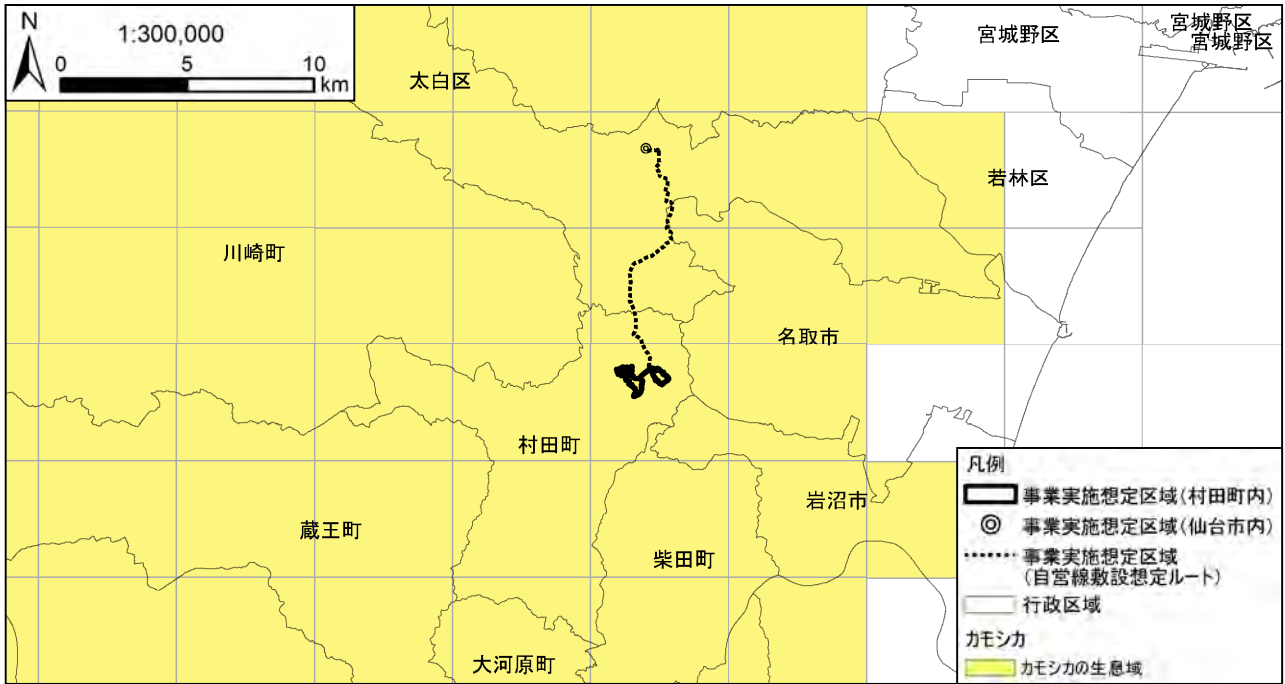
出典：「希少猛禽類調査（イヌワシ・クマタカ）の結果について」（環境省 HP、閲覧：令和 4 年 4 月）より作成

図 3.1-20(1) 注目すべき生息地（イヌワシ分布メッシュ図）



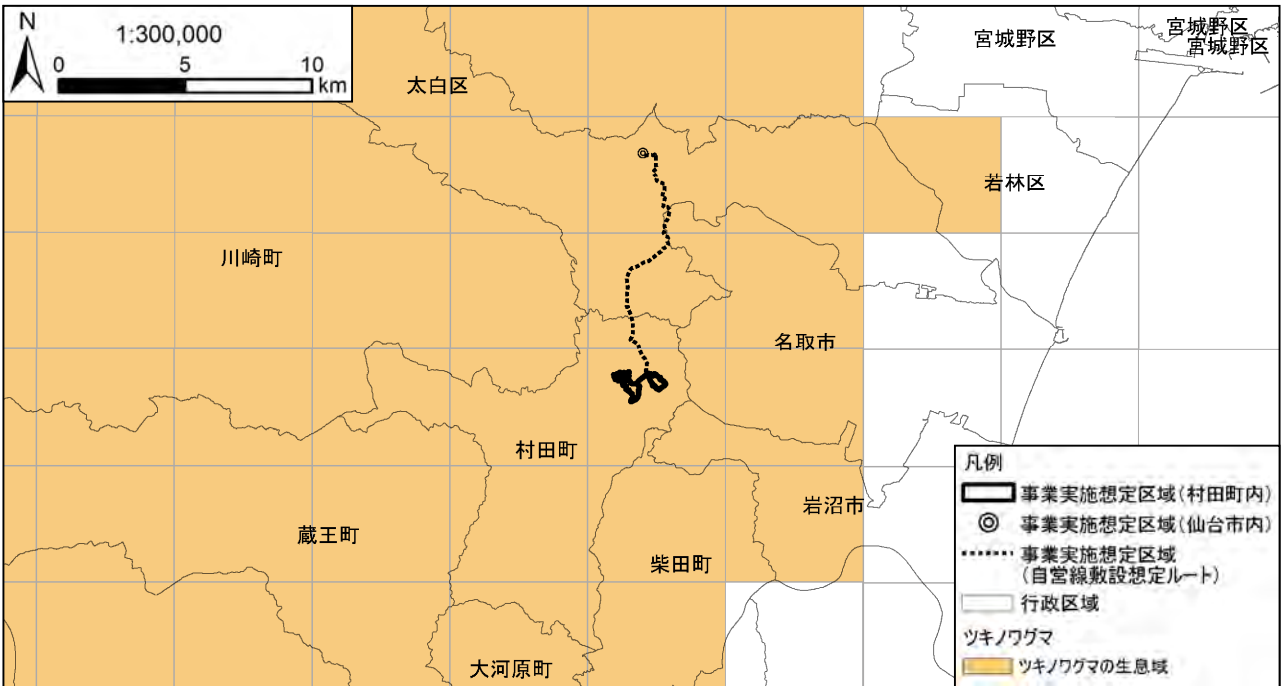
出典：「希少猛禽類調査（イヌワシ・クマタカ）の結果について」（環境省 HP、閲覧：令和 4 年 4 月）より作成

図 3.1-20(2) 注目すべき生息地（クマタカ分布メッシュ図）



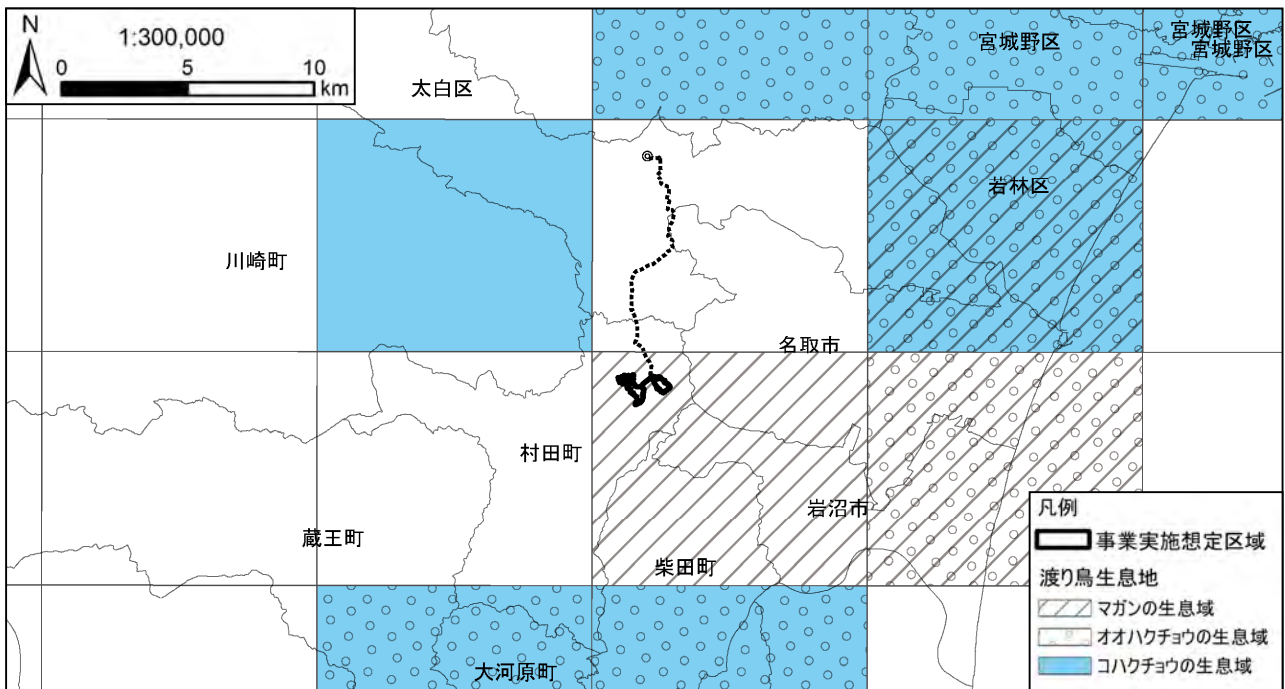
出典：「生物多様性情報システム-基礎調査データベース検索-(第6回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書)」(環境省HP、閲覧：令和4年4月)より作成

図 3.1-20(3) 注目すべき生息地 (カモシカ生息域メッシュ図)



出典：「生物多様性情報システム-基礎調査データベース検索-(第6回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書)」(環境省HP、閲覧：令和4年4月)より作成

図 3.1-20(4) 注目すべき生息地 (ツキノワグマ生息域メッシュ図)



出典：「生物多様性情報システム-基礎調査データベース検索-(第6回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書)」(環境省HP、閲覧：令和4年4月)より作成

図 3.1-20(5) 注目すべき生息地（渡り鳥生息地メッシュ図）

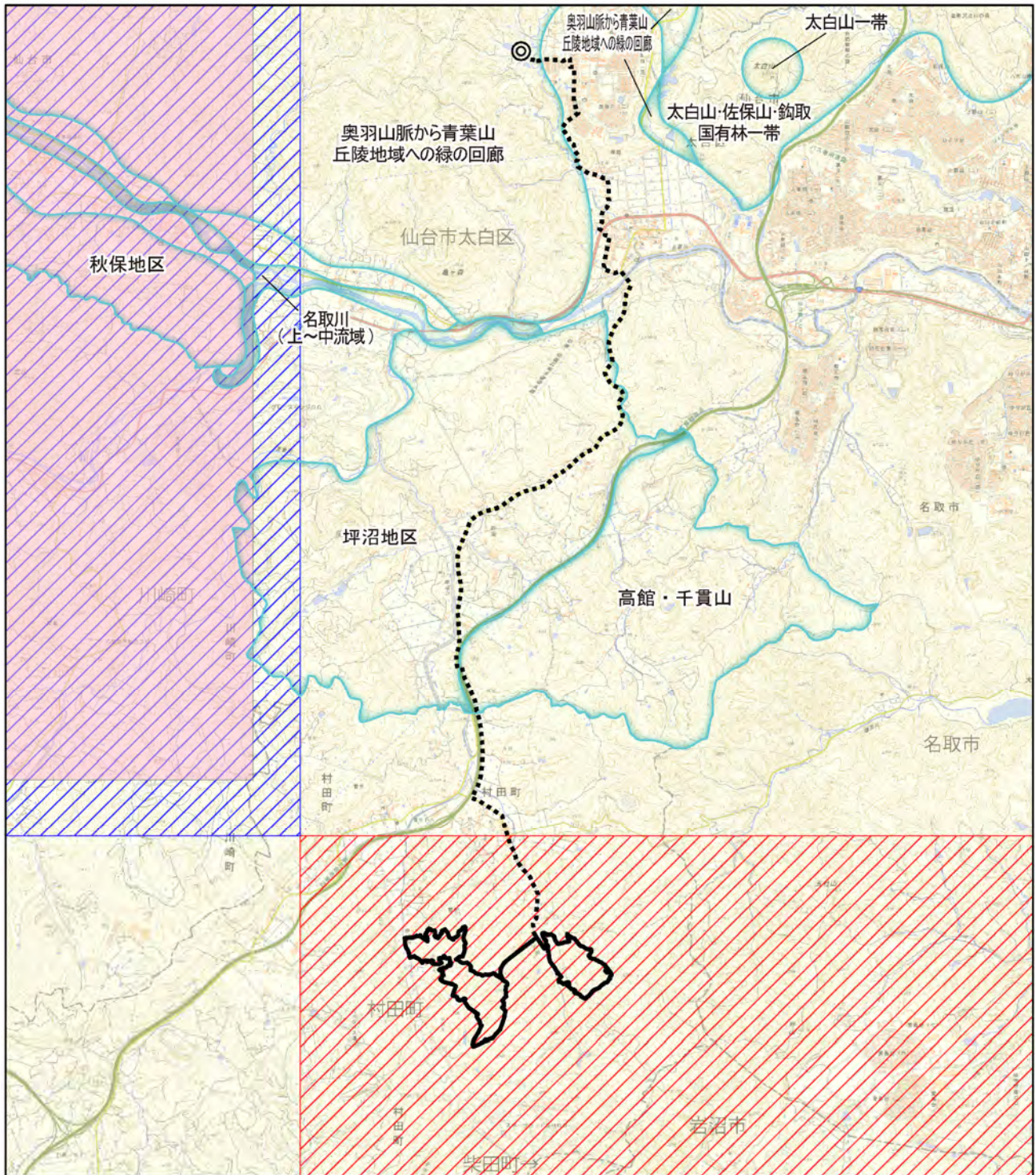
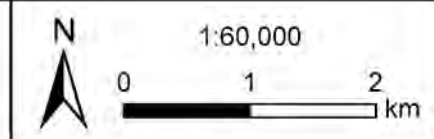


図 3.1-20(6) 注目すべき生息地 (メッシュ重ね合わせ等)

凡例

- | | | |
|--|---|-----------------------------|
| <p>■ 事業実施想定区域(村田町内)</p> <p>◎ 事業実施想定区域(仙台市内)</p> <p>..... 事業実施想定区域 (自営線敷設想定ルート)</p> <p>□ 行政区域</p> | <p>■ イヌワシ生息地</p> <p>■ ツキノワグマ、カモシカ生息地</p> <p>■ 渡り鳥生息地</p> <p>■ マガン</p> <p>■ コハクチョウ</p> | <p>■ 動物生息地として重要な地域(仙台市)</p> |
|--|---|-----------------------------|



出典:「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」、「要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査」(環境省HP)、「ガンカモ類の生息調査」、「モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査」(生物多様性センターHP)、「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」(仙台市HP)、(閲覧:令和4年4月)より作成

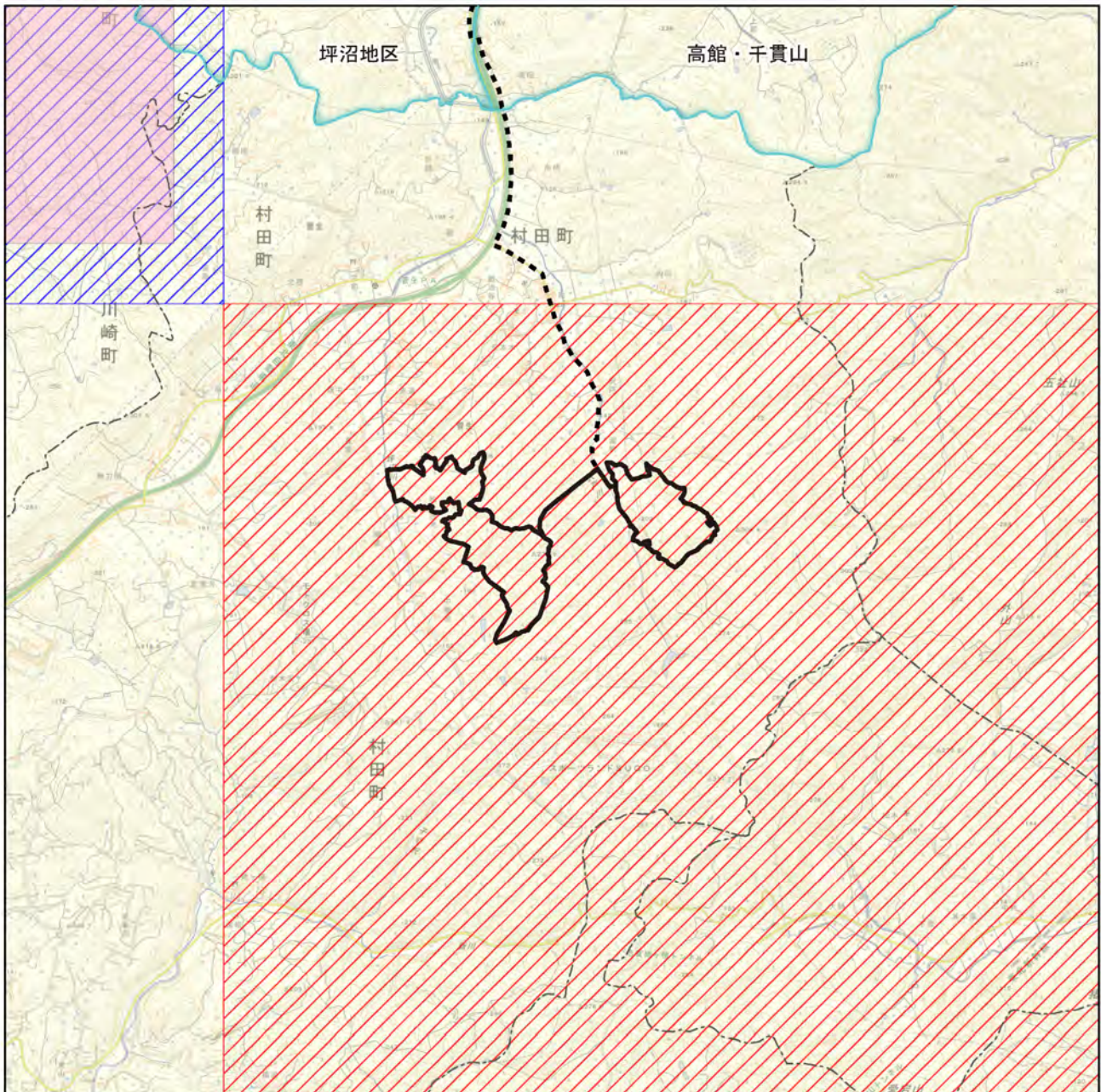
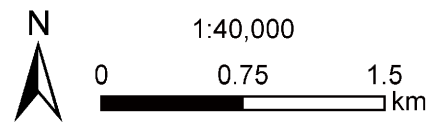


図 3.1-20(7) 注目すべき生息地（メッシュ重ね合わせ等）（村田町内）

凡例

- | | |
|--|---|
| <p>■ 事業実施想定区域(村田町内)</p> <p>----- 事業実施想定区域
(自営線敷設想定ルート)</p> <p>----- 行政区域</p> | <p>■ イヌワシ生息地</p> <p>■ ツキノワグマ、カモシカ生息地</p> <p>■ 渡り鳥生息地</p> <p>■ マガン</p> <p>■ コハクチョウ</p> <p>■ 動物生息地として重要な地域(仙台市)</p> |
|--|---|



出典：「希少猛禽類調査(イヌワシ・クマタカ)の結果について」、「要注意鳥獣(クマ等)生息分布調査」(環境省HP)、「ガンカモ類の生息調査」、「モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査」(生物多様性センターHP)、「平成 28 年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」(仙台市HP)、(閲覧：令和 4 年 4 月)より作成

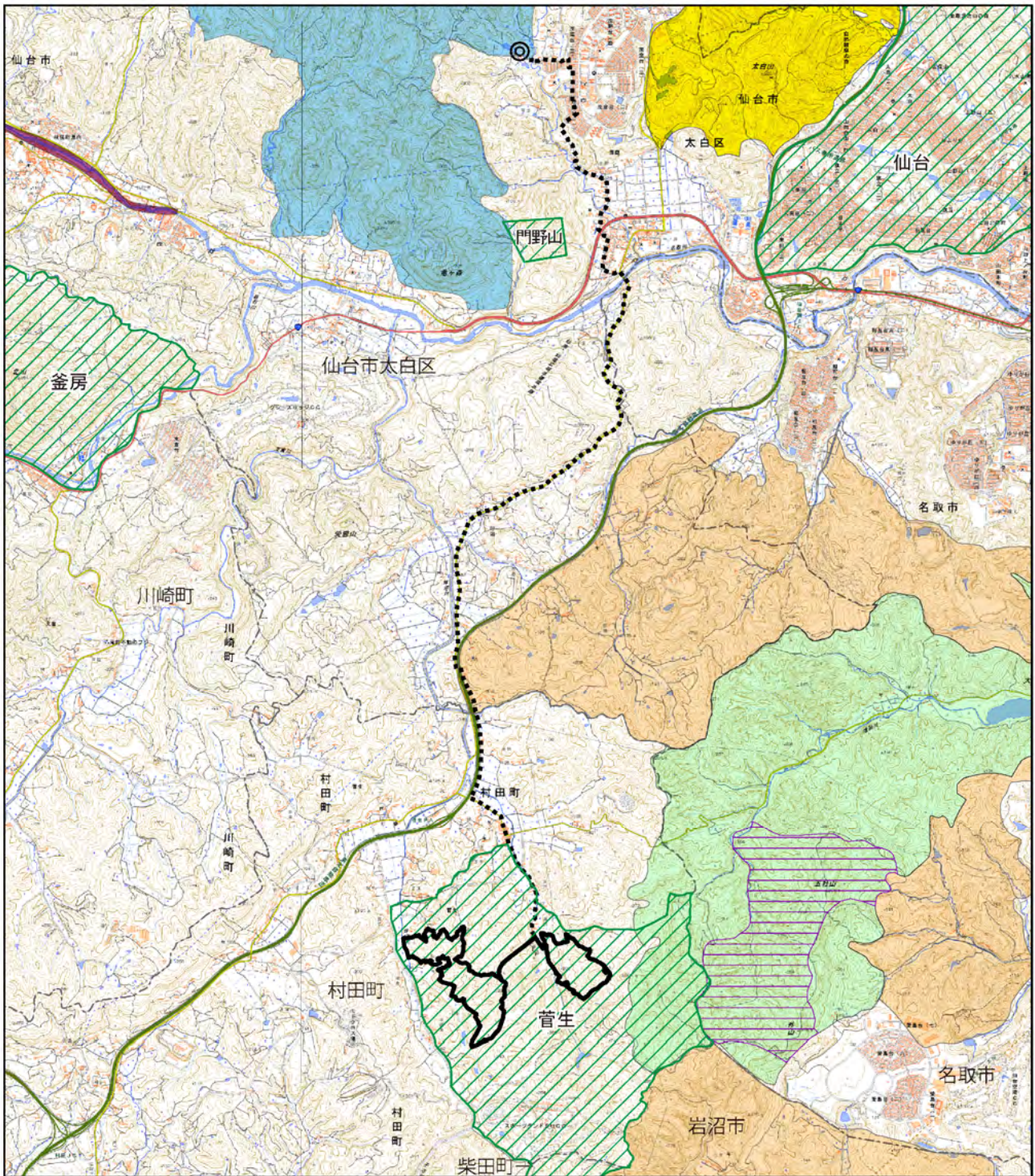
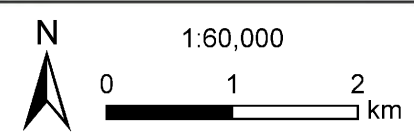


図 3.1-21(1) 注目すべき生息地（法令等）

凡例

- 事業実施想定区域(村田町内)
- 事業実施想定区域(仙台市内)
- 事業実施想定区域(自営線敷設想定ルート)
- 行政区域

- 県立自然公園二口峡谷
- 樽水・五社山県自然環境保全地域(普通地区)
- 樽水・五社山県自然環境保全地域(特別地区)
- 太白山県自然環境保全地域(普通地区)
- 高館・千貫山緑地環境保全地域
- 蕃山・斎勝沼緑地環境保全地域



鳥獣保護区

出典：「自然公園等区域閲覧サービス」、「令和3年度鳥獣保護区等位置図」（宮城県 HP）、「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」（仙台市 HP）、（閲覧：令和4年4月）より作成

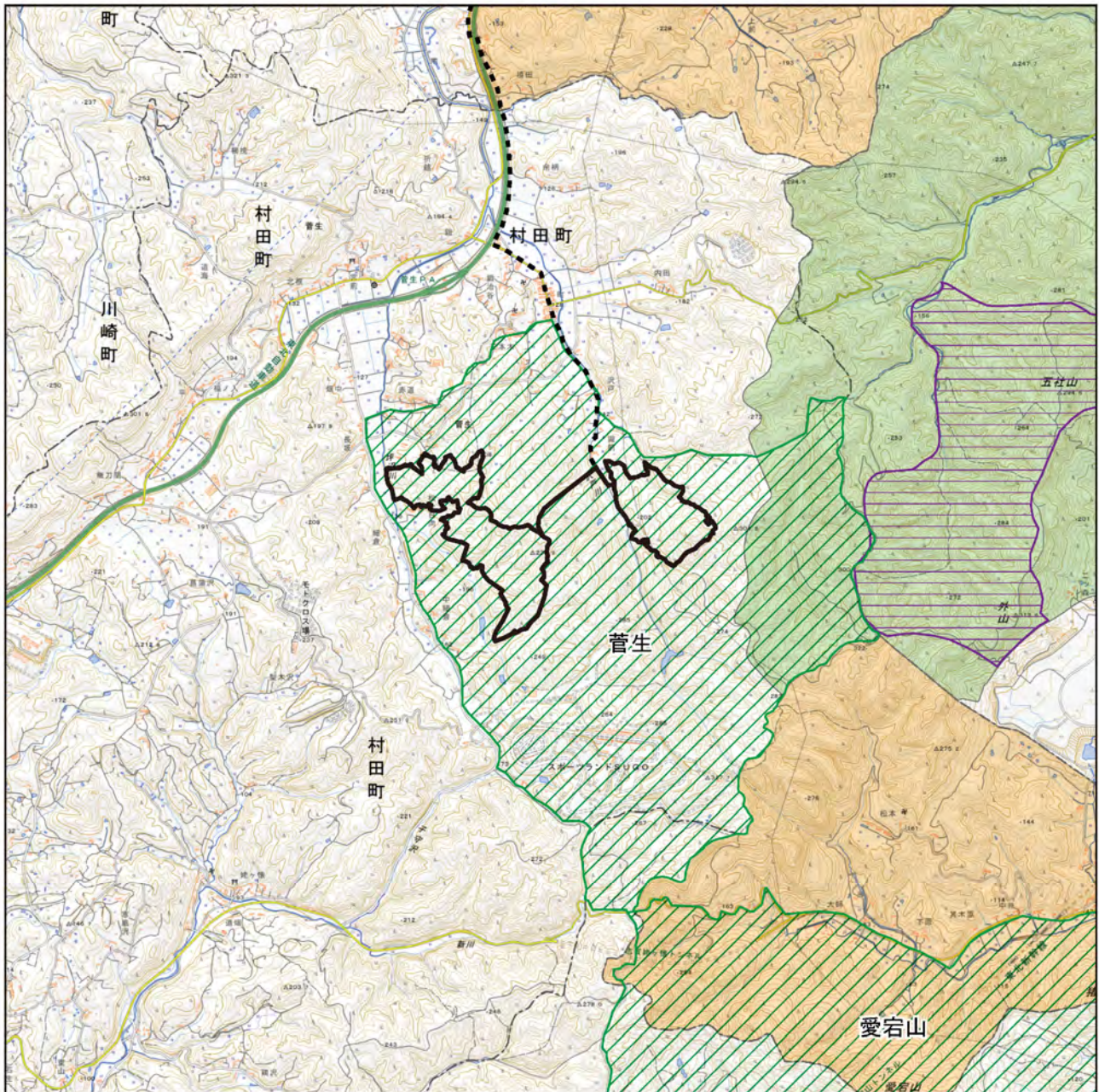


図 3.1-21(2) 注目すべき生息地（法令等）（村田町内）

凡例

■ 事業実施想定区域(村田町内)

..... 事業実施想定区域
(自営線敷設想定ルート)

□ 行政区域

■ 樽水・五社山自然環境保全地域（普通地区）

■ 樽水・五社山自然環境保全地域（特別地区）

■ 高館・千貫山緑地環境保全地域

■ 鳥獣保護区



1:40,000

0 0.75 1.5 km

出典：「自然公園等区域閲覧サービス」、「令和3年度鳥獣保護区等位置図」（宮城県HP）、「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」（仙台市HP）、（閲覧：令和4年4月）より作成